

通期の見通し

■国内景気は徐々に回復に向かうと予想

国内外で新型コロナウイルスの感染拡大は未だ収束が見えない状況にある中、国内においてはコロナ禍後に向けた生活や経済活動を模索しつつあり、国内景気は4～6月期の急落以降は弱いながらも徐々に回復に向かうと予想されます。

このような経済状況のもとで、国内ではAI・IoT・5G等の技術を事業活動の生産性向上やコスト削減に活かすためのIT投資、働き方改革やコロナ禍での事業活動に必要なIT投資が行われると予想されます。

■「オフィスまるごと大塚商会」

以上のような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは潜在的なIT需要の掘り起こしと同時に、お客様の事業継続を最優先課題として対応し、その上でそれぞれに合ったソリューションを提案し市場のニーズを掴みます。

また、お客様との新たな関係創りを目的として、AI等の技術で営業活動を支援し、営業がカバーできていないお客様の対応を行うセンター機能やお客様に寄り添うお客様マイページ*を充実させ、コロナ禍でもお客様との接点を増やし営業活動の効率をさらに上げていきます。これらの活動により当社グループは、一回のお客様から一生のお客様になっていただけるよう努め、在宅勤務もオフィスワークの延長として捉え「オフィスまるごと」の方針の下、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材やサービスを活かした付加価値の高い提案を行います。これらに加え、コロナ禍で求められる保守サービスメニューの開発等でストックビジネスを強化し、お客様との安定的かつ長期的な取引関係に基づく収益基盤の充実を図ります。

なお新型コロナウイルスの感染拡大により、テレワークによるオフィス利用の減少に伴う当社グループの業績への影響は、少なくとも年内は継続すると見込まれます。

※お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイトのこと。

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、新型コロナウイルスの感染拡大の中で安全で効率的な営業活動を行い、ITを活用したテレワークや働き方改革への対応、生産性向上・コスト削減のニーズの掘り起こしを図ります。そのために、IT導入補助金やテレワーク関連の助成金等を利用されるお客様を引き続き支援し、お客様の事業活動をサポートするソリューションの提案に努めます。また、当初より前倒しとなったGIGAスクール構想の実現に向けて、当社グループとしても年内、引き続き地方自治体や教育委員会に対し積極的に働きかけ、需要の取り込みを図ります。

サービス&サポート事業では、「たのめーる」の競争力の強化に努め市場の拡大を図ります。また、「たよれーる」では、コロナ禍でもお客様が安心して安全に事業活動を継続するためのサービス、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努めます。

■通期の業績予想

通期の連結業績予想は、8月7日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、年初の業績予想を売上高のみ下方修正し、以下となります。

売上高8,390億円(前年同期比5.4%減)、営業利益637億円(前年同期比2.4%増)、経常利益646億円(前年同期比1.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益435億30百万円(前年同期比0.1%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業5,305億50百万円(前年同期比8.3%減)、サービス&サポート事業3,084億50百万円(前年同期比0.2%増)。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2019年 12月期	2020年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	886,536	839,000	-5.4%
営業利益	62,192	63,700	+2.4%
経常利益	63,706	64,600	+1.4%
純利益*	43,497	43,530	+0.1%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2019年 12月期	2020年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	578,698	530,550	-8.3%
サービス&サポート事業	307,837	308,450	+0.2%